

(別紙様式2)

普及指導員調査研究報告書

所属名： 岩国農林事務所

担当者名： 岡田 知子

課題名	イチゴ産地の再構築（「かおり野」の現地特性把握）			
1	調査研究チームの構成 岡田知子・陶山紀江			
2	課題の目的 いちご新品種「かおり野」の栽培実証に取り組み、当地域における栽培特性を把握して、広域導入の資とする。			
3	調査研究期間 平成24年9月～平成25年3月			
4	調査研究の対象地域・場所 岩国市 A氏 岩国市 B氏			
5	調査研究方法の概要 (1) 調査区の耕種概要			
	項目	A氏		B氏
親株	導入数	40株		40株
	定植日	2011/10/25		4/8
育苗	採苗期間	6/22～8/13		5/30～8/14
	切離時期	8/30～8/31		8/14～9/1
本ぼ	栽植本数	8080株/10a		5900株/10a
	株間(cm)	23cm		20cm
	定植日	9/15～9/19		9/14～9/20
	栽培様式	土耕栽培		土耕栽培
	付帯設備	小トンネル		電照（不使用）・暖房
	施用窒素量	19.6kg/10a		17.7kg/10a
(2)	調査項目及び方法 ・苗質調査、生育調査、収量・糖度調査			
6	結果の概要、成果 (1) 苗質調査			
	月日	硝酸態N濃度(ppm)	クラウン径(mm)	花芽分化(分化程度・指数)
A氏	9/12	665	9.6	分化率20%、未分化4、花房分化中期1、指数0.4
	9/19	237	9.3	分化率60%、未分化2、肥厚期1、ガク片形成期1、雄蕊形成期1、1.6
B氏	9/12	733	13.0	分化率20%、未分化4、花房分化中期1、指数0.4

(2) 生育調査

ア 果房・腋芽等

調査ほ場		開花 始め	果房間 葉数	収穫始め	腋芽発 生数	芯とまり 株率%
A氏	頂果房	10/29	2.7枚	11/16	1.6	0
	第1次腋果房	12/5頃	3.0枚	1/17	1.2	0
	第2次腋果房	1/22頃		2/18	未調査	0
B氏	頂果房	10/29	2.4枚	12/5 ※11/12初もぎ	1.7	0
	第1次腋果房	12/13	2.7枚	1/17	1.4	0
	第2次腋果房	1/17		※3/4緑熟期	1.0	0

イ 草勢

調査ほ場		10/18	11/19	12/14	1/17	2/15	3/15
A氏	草高(cm)	16.0	25.4	30.3	26.8	18.7	19.9
	葉長(cm)	16.9	26.5	32.9	30.7	21.8	24.2
	果梗長(cm)	-	-	頂果房 22.8	頂果房 24.9	第1次腋果 27.9	第2次腋果 23.9
	果梗枝長(cm)	-	28.8	頂果房 36.5	頂果房 39.6	第1次腋果 41.4	第2次腋果 30.9
B氏	草高(cm)	19.3	35.5	37.7	36.1	23.7	26.0
	葉長(cm)	23.7	36.4	41.8	39.9	28.3	29.7
	果梗長(cm)	-	-	頂果房 27.1	頂果房 27.4	第1次腋果 36.9	第2次腋果 36.0
	果梗枝長(cm)	-	29.9	頂果房 48.8	頂果房 55.5	第1次腋果 49.6	第2次腋果 43.0

(3) 収量・糖度調査

調査 ほ場		11月	12月	1月	2月	3月	合計
A氏	収量 (kg/10a)	70	657	876	1451	-	
B氏	収量 (kg/10a)	0	152	896	1080	-	

注1) 2月末までの出荷量。調査継続中。

7 今後の問題点

- ・1月～2月の草勢が弱く、1月の電照や温度管理、着果数管理などにより、適正な草勢を検討する必要がある。遮光による春季の果実品質維持が必要である。

8 普及活動上の留意点

- ・両JAと栽培および販売方針を協議のうえ、適正な草勢管理による果実品質維持を図る。育苗期は、特に萎黄病対策を徹底する。

※ 報告書は図表、写真等を含めてA4判で2ページ以内にまとめること